

特集 | 第31次長期経営計画(平成30年4月

～3カ年)の策定について

第30次長期経営計画(平成27年4月～30年3月)の振り返り

「地域活力創造銀行への変革」をテーマとした第30次長期経営計画では、「地域活力を創造する」「お客さま利便性を進化させる」「企業力を向上させる」の3つをテーマに掲げ、長野県のトップバンクとしてさまざまな取り組みを行ってまいりました。

◆ 成果について(総括)

企業誘致や創業支援等の地域活力創造に係る計数目標は全項目達成することができました。この結果、長期経営計画最終年度である平成30年3月期末の貸出金残高は5兆876億円と過去最高を更新し長野県経済への貢献ができました。ALL信州観光活性化ファンドによる「WAKUWAKUやまのうち」への出資を主導し、山ノ内町の観光振興や空き店舗の有効活用など当行独自の地域の「まちづくり」の取組みが、「平成28年度地方創生に資する金融機関等の特徴的な取組事例」として政府から表彰されるなど、多方面から評価を受けました。



◆ 3つのテーマの成果と課題

地域活力を創造する



- 創業者向け融資商品、クラウドファンディングなどを活用した「起業・創業支援」、地方公共団体と連携した「企業誘致活動」、ファンドを活用した「次世代・成長産業の育成支援」に取り組み、地域における当行の存在感を発揮しました。
- 第31次長期経営計画では明文化しないものの、当行の普遍的使命と位置づけ取組みを継続していきます。

お客さま利便性を進化させる



- 非対面チャンネルではインターネットバンキング、口座開設アプリや非対面無担保ローンなどを導入しました。
- 対面チャンネルでは、お客さまのライフスタイルに合わせた新たな店舗・営業体制の強化を進めていきます。
- 第31次長期経営計画では、IT技術を業務プロセス見直しと組み合わせ、スピード感を持った組織構築を目指します。

企業力を向上させる



- 連単倍率目標は未達成となりましたが、当行グループ全体での金融サービスの高付加価値化を第31次長期経営計画でも継続していきます。
- 第31次長期経営計画では、環境経営を深化させ、多種多様な人財が活躍できるよう、さらなるフィールド拡大に向けた取組みの強化を継続します。

第31次長期経営計画(平成30年4月～3カ年)の策定について

第30次長期経営計画における取組みを通して、長野県経済の活力創造に向けた職員の意識は高まったうえ、一定の実績も確認することができました。しかしながら、当行グループが一体となり、お客さまの多様なニーズを解決するコンサルティング機能の発揮は、さらなる強化の余地があることを認識しています。

平成30年4月から新たにスタートしました第31次長期経営計画「変化に挑み、次代を創る」では、3つのテーマを掲げ長野県経済の持続的な発展に貢献していきます。当行の強みであるお客さまとの対面営業については「お客さま利益実現のための“対面営業”の強化・拡大」を目指し、お話しする時間・機会としての「量」、情報の提供に加え、心に届くご提案としての「質」、長野県内のほか県外や海外市場も視野に入れた「範囲」を拡げ、強化していきます。

お客さまからの厚い信頼をいただけるよう、金融のプロフェッショナル集団を目指し職員一人ひとりの成長とともに働きがいを重視する「“人財”育成投資・活躍機会の拡大」、スピード感のある業務遂行に向け「“営業推進態勢・業務プロセス”の変革」にもグループ全社で取り組みます。

変化を前向きに受け止め、長野県の次代を創る地域金融機関として持続的に成長してまいります。

